

学校だより

大田区立大森第八中学校

令和6年12月2日 第8号

「ウェルビーイング (well-being)」＝「自分らしく幸せに生きられること」

副校長 増田 晃教

本年度より副校長として品川区教育委員会から異動してまいりました増田晃教（ますだ あきのり）です。保護者の皆様、地域の皆様と協働して、子どもたちも教職員ものびのびと力を伸ばすことができる温かい教育環境を創っていきたいと思っています。本校関係者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

私事ですが、6年前にとある総合商社の人事部へ出向をしておりました。その中で感じたことがあります。これまでは「指示されたことを確実に実行できる人」が社会で求められていましたが、現在ではそのような人材は「真面目ではあるけど、自分で考えて行動することができない」と言われてしまうように、評価が大きく変わってきているということです。

これからの「先行きが見えない、将来の予測が困難な不確かな時代」において求められる人材は、新たな価値を創造できる人や、自分の人生を自分の力で切り拓くことのできる人であったりします。また、社会のあり方や個人のワークライフバランスが見直される中、これからの時代の中心的な考え方として注目されていたのが「ウェルビーイング (well-being)」でした。学校教育においても OECD（経済協力開発機構）が 2030 年のあるべき学びの姿として示した「学びの羅針盤（ラーニング・コンパス）」で唱えている「ウェルビーイング」を学びの目的にすることを目指しています。

「ウェルビーイング」とは、一人ひとりの気持ちや実感を大切にすることです。まさに十人十色、八中生一人ひとりにそれぞれのウェルビーイングがあると考えています。まずは、自分にとってのウェルビーイング、幸せとは何かについて思いを巡らせ、そのために自分はどうあるべきか、ということを考えることが大切です。例えば、何をしている時の自分が好きなのか？ずっと大切にしていることは何なのか？自分にとっての生きがいはあるのか？心安らぐ居場所はあるのか？…。そして、同じようにご家族や友人など身近な大切な人はどうだろうと思いを巡らせてみてください。さらに、先生達や、今日出会った人はどうだろう…と考えを広げていくと、それぞれ違う形でいきいきとした姿が見えてくるように思います。

私も、こういう意識を持ちながら、生徒や教職員一人ひとりのウェルビーイング向上のため取り組んでいきたいと考えています。例えば、夢や目標をもつこと（やってみよう因子）は幸せに通じ、それをだれかと語り合うこと（ありがとう因子）で幸福度が高まります。「どうせ、でも、だって」などのネガティブな言葉を口にしないこと（なんとかなる因子）や、自分と他人を比較しないこと（ありのまま因子）を心掛けることが幸せにつながります。まずはウェルビーイングについて知ること。そして、自分自身のウェルビーイングを高めることが、周りの人や、社会のウェルビーイングにつながります。できることから一歩ずつ始めてみませんか？

12月の主な予定

2日(月) 生命尊重週間～6(金)	12日(木) がん教育(2)
3日(火) 人権啓発作品展～10(火)	16日(月) 生徒朝会
4日(水) 三者面談終(全)	20日(金) 避難訓練(不審者)
6日(金) 新入生保護者説明会	24日(火) 美化日(ジャージ登校)
9日(月) 全校朝礼 安全指導	25日(水) 終業式
10日(火) 学校保健委員会	26日(木) 冬季休業日～1/7(火)
11日(水) 職員会議	1月8日(水) 始業式

今月のきらめく八中生

OTA ふれあいフェスタ 11/2(土) ボランティアスタッフ 4名

吹奏楽 令和6年度大田区文化祭(第74回大田区吹奏楽祭)招待演奏

連合学芸会(英語の部)スピーチ「Are You Interested in AI」3位 1名

ソフトテニス 第68回東京都中学校新人大会 5位 8名

ソフトテニス 第77回区民秋季大会 優勝 1名/他校生 2位2名 5位2名 9位4名

柔道 第77回区民秋季スポーツ大会 中学生軽量の部 優勝 1名

連合球技大会(8組) 4ブロックAチーム 2位 5名

税の作文入選 東京商工会議所大田支部会長賞 1名

大森納税貯蓄組合連合会 銀賞 2名

人権啓発作品展(12/3～12/10 池上会館) ポスター: 2名 標語: 2名 習字: 2名



11/6 連合学芸会(英)



11/3 大田区吹奏楽祭



11/15 スケアードストレイト



11/22 連合球技大会



11/8 避難訓練(消火器体験)